

(事業計画書様式1)

1 概要

公園名	横浜市こども植物園（以下、「こども植物園」という。） 横浜市児童遊園地（以下、「児童遊園地」という。）
所在地	【こども植物園】南区六ツ川 3丁目 122 【児童遊園地】保土ヶ谷区狩場町 213
公園面積、公園種別	【こども植物園】約 3ha、植物園（博物館類似施設、 都市緑化植物園） 【児童遊園地】約 8ha、風致公園
主な施設	【こども植物園】 花壇・バラ園、果物園、野草園、花木園、生垣園、展示研 修館、植物標本館 【児童遊園地】 花壇、竹林、梅園、運動広場、遊具（健康遊具、すべり台
特徴	【こども植物園】 園内には、花木や果樹、シダや竹など多種にわたり、栽 培展示されている。 話題性のある植物を積極的に収集し、栽培、管理、展示を 行い、子供たちが興味をもてるようにしている。 図書室には植物に関する資料を広く集め、実物との比較学 習ができるように工夫している。 【児童遊園地】 資源循環局保土ヶ谷事務所などの公共施設が隣接しなが ら、「狩場の丘」としてまとまった緑を形成している。運動広 場、遊び場と共に池・流れや花見など多様な利用ができる 公園である。
公園開園日	【こども植物園】1979（昭和 54）年 6 月 23 日 【児童遊園地】1929（昭和 4）年 10 月 6 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人 横浜市緑の協会
代表者名	理事長 上原 啓史
所在地	神奈川県横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	平成 27 年 4 月～平成 32 年 3 月
現指定管理者管理運営開始日	平成 22 年 4 月
他に指定管理者に指定されている 公園（市内外問わず）	山手公園・元町公園・港の見える丘公園の 2 公園施設・山 手イタリア山庭園（JV）、三ツ沢公園（JV）、岸根公園、馬 場花木園、俣野公園（JV）、俣野別邸庭園、海の公園、長浜 公園（JV）、富岡総合公園（JV）、野島公園、よこはま動物 園、野毛山動物園・野毛山公園、金沢動物園・金沢自然公 園

(事業計画書様式2)

1 公園運営の全体的な考え方

こども植物園・児童遊園地の特性を活かし、仕様書や維持管理水準書などを基本とした着実な管理運営に取り組みます。また、より多くのこどもたちに来園してもらい、ワクワク楽しみながら植物の不思議と感動を伝え、こどもの豊かな心を培ってもらうとともに、市民の緑花力を育みます。

こども植物園・児童遊園地では、横浜市唯一の植物園として、これまでも「横浜市みどりアップ計画」など市の環境緑化行政に協力してまいりました。指定管理最終年度となる平成31年度は、第33回全国都市緑化よこはまフェアを契機に市が推進している「ガーデンシティ横浜」に寄与するため、これまで培ってきたノウハウを生かし、『ガーデンネックレス横浜2019』（横浜ローズウィーク等）の推進に協力してまいります。

2 本年度の基本的な管理運営方針

指定管理者に求められる基本的役割（安全・安心の管理運営、市民サービスの向上、経費の節減等）を果たし、かつ上記考え方の実現のため、両公園の特性を踏まえたそれぞれのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

【こども植物園】

方針1 おいでよ！こども植物園～来園を促す様々な広報・集客の取り組み

・こどもに関わる様々なニーズを取り入れ、こどもや親子連れが来園したくなるワクワクする情報を多様な媒体で発信します。

方針2 みてみて！こども植物園～緑と植物園の魅力を伝える

・博物館類似施設として、種の保存や標本数の管理をすることで、今ある財産を将来へ引き継ぎます。

・展示や解説板の工夫を行い、植物の魅力をこどもにも分かりやすく伝えます。

方針3 楽しもう！こども植物園～緑について楽しく学び、緑の担い手を育む

・こどもから大人まで楽しく学べる体験型のプログラムやイベント等を開催します。

【児童遊園地】

方針4 谷戸地形の織り成す四季折々の風景に親しもう！～都市の身近な里山をつくる

・雑木林や梅林、竹林、花畑等の魅力を引き出し、感動する風景を創ります。・ボランティアや緑の担い手との協働による植栽管理等を通じ、園内の魅力を向上させます。

方針5 色とりどりの自然と友達になろう！～みんなが楽しめる場をつくる

・五感を使って豊かな自然を体感する環境教育プログラムを展開します。

3 運営業務の実施方針

私たちが掲げる上記ミッションについて、実施方針を次のとおりとします。

- ・両園とも、美観や見映えを考慮した維持管理を実施したうえで、上記ミッションを実現します。
- ・民間のノウハウで、水準書レベル以上（+α）の管理運営を行います。
- ・こども植物園と児童遊園地の両方を連携活用して、さらに良い効果を上げます。

【こども植物園】

方針1 ・こどものさらなる利用促進に向けた取り組みを行います

・パブリシティやインターネット、紙媒体を活用した広報・集客を行います

方針2 ・園内マップと連動した植物園の音声ガイドシステムを提供します

・まぼろしの「太郎柿」探索と日本一の柿コレクションをさらに拡大します

・こどもが楽しいわかりやすい樹名板、解説板に更新します

・来園者がワクワクするエントランスを演出します

・希少な標本コレクションをこどもたちに公開します

・植物の不思議さや面白さを伝える企画展示会を開催します

・木原均博士の功績をこどもたちに伝えます

方針3 ・市民に対してさまざまな講座や親子向け教室、みどりの学校、絵本の読み聞かせを開催します

・季節感のあるお祭りやイベントを実施します

・緑の相談業務の推進と図書コーナーの充実に取り組みます

【児童遊園地】

方針4 ・花いっぱいの風景をつくり、地域の見どころを創出します

方針5 ・こどもが自然に興味をもつきっかけづくりとなるイベントを実施します

4 人員・組織体制

<p>(1) 組織体制 こども植物園・児童遊園地の一体的管理により効果的・効率的な人員配置を行います。</p> <p>(2) 人員配置 業務経験豊富な園長および副園長を配置し運営統括を行います。副園長は園長を補佐するとともに園長不在時に統括代行を行います。また、双方が不在の場合でも常に連絡がとれる体制で現場を適切にマネジメントします。 質の高い維持管理をするため、植物に関する深い知識や公園管理の高い技術を併せ持つ職員を配置します。また、職員の補助として栽培・展示・相談業務に従事するパートタイマーと、園地管理に従事するパートタイマーを配置します。</p> <p>(3) 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両公園の管理運営に関わるスタッフ一人ひとりが、公園の「顔」である自覚と誇りを持つよう、人材育成に取り組みます。 ・研修は、①ホスピタリティやコンプライアンス重視、②知識や技術向上に関する各種研修を実施します。③博物館学を研修し、博物館の使命を果たす意識や知識を身につけます。
--

平成 31 年度人員配置表

職名	雇用	人数	職務内容	勤務日
園長(施設長・課長職)	職員(常)	1名	運営統括	週 5
副園長(副施設長・係長職)	職員(常)	2名	運営統括補佐	週 5
植栽・管理担当	職員(常)	4名	両公園の植栽管理・施設管理・各種講座・企画展示の統括	週 5
事務・企画担当	職員(常)	1名	庶務経理教育普及広報事務の統括	週 5
栽培・展示・相談担当	パート(常)	7名	こども植物園の植栽管理、各種植物展示、緑の相談所業務	週 4
園地管理担当	パート(常)	5名	両公園の巡視点検と清掃、児童遊園地の園地管理業務	週 5~4
教育・普及・広報担当	パート(常)	1名	教育普及広報業務の補佐	週 4
庶務・経理担当	パート(常)	1名	庶務経理業務の補佐	週 4
緑化推進担当	職員(常)	2名	緑化推進事業の統括	週 5
	パート(常)	3名	緑化推進事業の補佐	週 5~3

※(常)は常勤、(非)は非常勤

勤務体制等

<ul style="list-style-type: none"> ・原則 12 名以上の体制とし、繁忙時はシフト調整による増員や当団体本部からの応援により対応します。 ・電気主任技術者：高圧受変電設備の保安業務担当者については、委託により選任します。 ・常勤とは、1 週間の所定労働時間(週 38.75 時間)の 3/4 (週 30 時間) 以上とします。

5 市民サービスの向上や公園の魅力向上・利用促進

(1) 自主事業を含めた提案事業の方向性と狙いのまとめ

こども植物園では、こどもの利用促進（方針 1 に基づく）、植物の収集・保存と展示の工夫（方針 2 に基づく）、講座・教室の充実、標本・図書活用、緑の相談所での緑化普及（方針 3 に基づく）を目指します。児童遊園地では、感動する風景づくり（方針 4 に基づく）、五感を使つての環境教育プログラムの展開、ウェルカムセンターとの連携（方針 5 に基づく）を行います。

(2) 市民サービス向上取組の考え方

利用者が快適に安心して公園を利用できるように以下の取組を実施します。

□親切・丁寧な利用者対応

一目でスタッフと分かるよう全員がユニフォーム・名札を身に着け、利用者への積極的な声かけや親切丁寧な案内等を行います。

□適切な迷子対応

迷子が発生した場合には管理事務所で一時保護し、園内放送を行います。

□拾得物マニュアルの整備

拾得物を誰もが適正に取り扱えるよう、当団体が独自に作成したマニュアルを備え、法令の改正等により随時更新します。

(3) 利用促進の取組、利用者支援等の取組について

利用者支援の取組として、神奈川県立生命の星・地球博物館友の会が開催する樹木講座等へ研修室の提供やよこはまりズム研修会の活動支援等市民団体の積極的な活動を支援します。また、障害者の自立を支援する取組みとして、養護学校の職業体験や収穫体験の受け入れや就労支援（イベント等の出展協力等）を行います。

(4) 課題に対する公園運営改善策

こども植物園では、園路の不陸（発見次第、順次小破修繕を実施）、温室の改修（植物が生長したことによって手狭になっている。温室内のレイアウトの見直しが必要）、植物ラベルの整備（利用者より植物ラベルの設置について要望が多い。古くなったラベルを随時更新）、排水不良（まめな排水溝清掃を実施。逆勾配のため、大雨時に滞水）などの課題があります。

児童遊園地では、簡易階段の老朽化（丸太の腐朽や不陸を発見次第、順次小破修繕を実施。利用者より本設の階段設置の要望。）、排水不良（英連邦墓地からの流れ込みの柵の詰まり。排水不良確認次第、清掃を実施。）、園路の不陸（発見次第順次小破修繕を実施）など施設の老朽化について市民から要望があります。

(5) 広報・パブリシティ活用の取組み

パブリシティを活用した広報活動として、広報よこはまに講座等の情報を毎月提供します。また、タウンニュース等広報紙に植物コラム等の寄稿を毎月おこないます。さらに、イベントや企画展示情報を随時記者発表します。

インターネットを活用した取組みとして、ホームページの開設、フェイスブック等 SNS での情報発信をおこないます。

また、紙媒体の発行による広報集客として、植物園だより（年 4 回発行）、植物園イベント情報（年 4 回発行）、年間行事予定表（年 1 回）を発行し、市内の小中学校や図書館等に配布します。

(6) 利用者ニーズ把握の取組み

日頃から公園利用者に気軽にご意見を寄せていただくことのできる取組みとして、利用者満足度アンケート（年 1 回）、利用者ご意見箱（あんなこんな提案箱）、ホームページによる広聴（利用者の声）の常設をおこないます。

また、こども会議を開催して、こどもたちに植物園に対する意見を聞く機会を設けます。

(事業計画書様式3)

1 公園の維持管理業務の全体的な考え方

市の維持管理基本水準書を最低限のレベルとして遵守し、これまで培ってきたノウハウを生かし、それ以上のレベルを維持管理計画の基本とします。植物が本来もつ魅力を十分に引き出すとともに、希少な植物を保全していきます。併せて、来園者が園内を安全・安心・快適に過ごせるよう維持管理を行います。

2 公園施設の維持管理について

(1) 遊具：毎日の巡視・点検時には必ず実際の利用を想定した点検を行います。毎月の定期点検は、施設(工作物・遊具)点検マニュアルに基づき、(一社)日本公園施設業協会の遊具点検研修を修了した職員が行います。
(2) トイレ：毎日の清掃を基本とし、年1回特別清掃を実施します。また、汚損や落書き等を発見した場合には、すみやかに臨時清掃や修復を行います。なお、園内に咲いている花を飾り清潔感を向上します。
(3) 標本館：適切な温度管理のため、建物に光が入らないようカーテンで常時締め切るほか、夏季は空調の24時間連続運転により室内を常に23℃以下に保ちます。また、定期的な除湿剤・防虫剤の入替えや薫蒸などにより虫食いを防ぎます。

3 園地管理について

(1) 果樹・花木類：病虫害を避けるため、自然樹形の維持のほか、果物園ではノビルの芳香が殺菌作用を持つため効果を活用します。
(2) バラ：大きく美しい花を咲かせるため、冬季剪定を丁寧におこないます。また、12月に長期間効力のある有機肥料を元肥として施すことにより、健康維持と花の香りを良くします。花後に即効性のある化成肥料を撒き、秋の開花に向け樹勢回復を図ります。
(3) 話題植物等：樹勢が衰退しつつあるニュートンのリンゴの木およびハンカチノキなどは、接ぎ木や新たな苗木の育成により保存に取り組みます。
(4) 美観や見映えを考慮し来園者が安全に利用できる維持管理を実施します。

4 事故防止の取組、過去に発生した事故の改善策

利用者、近隣住民、職員の安全を念頭におき、(1)～(3)の安全策を実施します。
(1) 過去に発生した事故の改善策：園地の特徴や危険箇所の情報を記載した独自の「公園ハザードマップ」と、これに基づく「巡視ルート図」を活用し、細やかな巡視・点検を徹底します。また、過去の点検結果や修繕履歴を参照し、事故の防止に努めます。
(2) 作業時の安全確保：園路沿いの草刈作業は、飛散防止シートなどを用いて養生を行います。また、カラーコーン・作業案内の設置などにより作業エリアを明確化し、作業員以外の立ち入りを防止します。管理用車両は、必ず通行許可証の掲示とハザードランプの点灯を行い、徐行による安全運転を徹底し、必要に応じ誘導員を配置します。
(3) 作業員の安全確保：安全帯・ヘルメットなどの安全装備を徹底し、作業員には機器の取扱いに必要な特別教育、安全衛生教育を実施します。また、塩分・水分補給や休憩など、熱中症対策を指導します。

5 清掃、修繕、施設設備改修

(1) 清掃：園内は急な坂道が多く、雨上がりには落葉で滑りやすいため、速やかに掃き清掃等を行います。ベンチ・テーブルは拭き清掃を行い、常に清潔に保ちます。また、管理事務所、展示研修館 多くの利用者が講座・教室・相談に訪れるため、掃き清掃やモップがけ、窓ガラスの拭き清掃を行い、美観に留意します。
(2) 修繕：建築物や更新の経費負担が大きい施設、遊具などは、予防保全型の管理を実施します。ベンチなど更新の経費負担が小さい施設は、日常巡視・点検や定期点検により異常の有無を把握し、利用者の安全確保を最優先に、異常箇所の修繕を随時実施します。

(事業計画書様式4)

1 緊急時の対応、緊急時マニュアルの活用、各区防災計画との連動等

- ・災害に備え、横浜市防災計画などに基づく、「災害対応マニュアル」を整備し、災害の状況に応じた配備体制を構築します。
- ・災害以外にも、事件・事故、重大な施設故障などに備え、市、警察、消防のほか、緊急対応事業者の連絡網を整備し、迅速に対応します。
- ・市と「災害時等における施設利用の協力に関する協定」を締結し、協力関係を構築します。

2 災害対応について

児童遊園地は災害時、広域避難場所としての役割を果たします。そのため今年度は、スタッフの啓発として、情報受伝達、非常時参集、防災訓練といった各種訓練を実施するほか、情報収集・伝達手段の確保のため、災害時優先電話の配備、業務用携帯電話への市防災メールの登録、緊急地震速報自動放送システムの整備を行います。

(配備機材一覧) 職員用食糧・飲料水(3日分)、携帯トイレ、カラーコーン、土のう、発電機、懐中電灯、手回し式ラジオ、ヘルメット、自転車、救護用品、汚物処理キットなど

3 犯罪や路上駐車等の不法行為対策について

公園内の不法行為等については、これまでこども植物園・児童遊園地において発生した事例を踏まえ、不法行為等に適切に対応します。

- (1) 不審者・不審物 園内で不審者・不審物が発見された場合は、必ず複数人で対応する、当団体本部・警察・市へ迅速に連絡する、不審物は「触らず・嗅がず・動かさず」の三原則にのっとりなど、適切に対応します。
- (2) トイレの盗撮・破壊等 トイレ周辺の高木剪定等により、周囲の見通しを確保し、不法行為が起きづらい環境づくりを行います。また、必要に応じ防犯カメラ、人感センサーライト等の設置について、市と協議します。
- (3) ホームレスの居住等 ホームレスの居住等が認められ、公園利用の妨げとなっている場合は、環境活動支援センター及び区福祉保健センターと連携し、人権に配慮しながら、必要な対応をとります。ホームレスが荷物を残置した場合は、一定期間撤去要請の貼紙をした後、当団体で処分します。
- (4) 植物の不法採取 園内には希少な植物種が多数植栽されていることから、特に植物の不法採取に注意します。疑わしい行為が認められた場合は、職員が口調等に十分配慮しつつ声かけを行い、状況を確認するとともに、不法採取と確認された場合は厳正に対処し、必要に応じ警察へ通報します。
- (5) 落書き落書きを発見した場合、適宜職員が臨時清掃や修復を行います。なお、差別落書き、人権に関わる落書きについては、写真等で記録し現状保存の上落書きを覆い、環境活動支援センターに迅速に報告し、指導に従い対応します。
- (6) 無許可の火気使用 園内で無許可の打ち上げ花火や焚き火等の火気使用を発見した場合には、すみやかに中止するよう注意します。また、火気使用の跡を発見した場合はすみやかに警察・消防に通報するとともに、環境活動支援センターに報告します。

4 個人情報保護について

個人情報の保護に関する法律、横浜市個人情報の保護に関する条例に準じ、個人情報保護方針、個人情報保護規程を整備しています。収集した個人情報は、これらに沿って、適切に管理し、マイナンバーは、特定個人情報取扱規程に則り、適切に管理します。

全スタッフには、必ず年1回の個人情報保護研修を実施し、実績を市に報告します。なお、業務を委託する場合は、同水準の管理を徹底します。

5 障害者差別解消について

市の「障害者差別解消の推進に関する取組指針」を実践できるよう、人権啓発研修のテーマに障害者差別解消を取り入れます。また、広報研修ではカラーバリアフリー、ウェブアクセシビリティの対応方法について教育します。さらに、当協会のホームページにおいて、ウェブアクセシビリティ適合レベルAAへの準拠に向け(平成31年度末)、ホームページ改修等を進めます。

6 運営目標

目標設定の視点	運営目標	目指す管理指数・数値	今後の取組(展望)
業務運営1 (達成目標、運営業務の実施方針)	より多くのこどもたちに来園してもらい、ワクワク楽しみながら植物の不思議と感動を伝え、こどもの豊かな心を培ってもらうとともに、市民の緑花力を育みます。	市のアンケート調査必須項目「7.公園の満足度総合満足度」の向上 (※初年度の満足度を基準として、満足度の向上を目指す)	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。
業務運営2 (利用者サービスの向上、利用者満足度や利用者数の増、利用しやすさ向上)	【こども植物園】 ①こどもの利用促進 ②植物の収集・保存 ③展示の工夫 ④講座・教室の充実 ⑤標本・図書活用 ⑥緑の相談所での緑化普及 【児童遊園地】 ①感動する風景づくり ②五感を使つての環境教育プログラムの展開 ③ウェルカムセンターとの協働	【こども植物園】 ①広報計画に基づく広報の実施 ②柿コレクション現状 92品種→95品種拡大 ③企画展示を年 18 回実施 ④講座教室を年 55 回実施 ⑤緑に関する図書を 40 冊追加購入 ⑥緑の相談所を毎日開設(休園日を除く) 【児童遊園地】 ①約 1,000 m ² の花畑管理 ②年 2 回プログラムの実施 ③年 12 回の連携プログラム	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。
業務運営3 (人員配置、緊急時対応計画、防犯防災、災害対応)	①園長(施設長)、副園長(副施設長)、植栽・管理担当など、提案人員を配置 ②園長は防火管理・防災管理講習修了、全スタッフは上級又は普通救命講習を修了 ③災害対応マニュアル・緊急連絡網の配備 ④情報受伝達、非常時参集、防災訓練の実施 ⑤災害時優先電話、資機材の配備	①提案人員の配置 ②資格取得、講習修了 ③配備完了 ④各 1 回 ⑤配備完了	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。
人材育成 研修実施効果等	①利用者対応、管理運営に関する研修…接遇ほか 3 種類 ②園地管理に関する研修…公園施設点検ほか 4 種類	①各 1 回 ②各 1 回 ③各 1 回 ④ 1 シリーズ	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。

	<p>③管理職研修…パークマネジメントほか 4 種類</p> <p>④博物館学の座学研修…概論、展示・教育・資料（植物）取扱、メディア論等現場担当者が心得ておくべき内容</p>		
維持管理 1 （施設の保守管理、補修計画）	<p>・本様式 3-2-(1)～(3)に記載した整備、点検を実施（ここでは項目のみ記載）。</p> <p>(1) 遊具(2) トイレ (3) 標本館</p>	<p>・本様式 3-2-(1) ～(3)に記載した整備、点検回数</p> <p>・維持管理基本水準書を目安に現場を高水準に維持するための管理</p>	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。
維持管理 2 （清掃、園地維持管理、災害対応）	<p>・本様式3-3～5 各項目に記載した施策を実施（ここでは項目のみ記載）。</p> <p>3-3 (1) 果樹・花木類 (2) バラ (3) 話題植物等</p> <p>3-4 (1)過去に発生した事故の改善策(2)作業時の安全確保(3) 作業者の安全確保</p> <p>3-5 (1)清掃(2)修繕</p>	<p>・本様式3-3～5 各項目に記載した施策の実施（回数が明記してあるものはその回数）</p> <p>・維持管理基本水準書を目安に現場を高水準に維持するための管理</p>	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。
収支 （修繕等、収入、支出）	<p>①提案時の収支計画に基づき、予算執行を実施</p> <p>②修繕予算は、計画修繕および緊急修繕の前年度実績に基づき 3,200 千円を計上</p>	<p>①着実な収支管理による収支均衡以上</p> <p>②3,200 千円</p>	提案時の収支計画に基づき、適切な収支管理に取り組みます。
経費節減策	<p>①電力入札等による経費節減</p> <p>②園地管理用資材、消耗品等の一括発注</p>	<p>① 4 月 1 日から電力供給契約を開始</p> <p>②消耗品費等の経費節減の推進</p>	運営目標の達成に向け、引き続き提案事項を実施する。

(事業計画書様式5)

提案事業実施計画一覧(自主事業含む) ※以下、(新)は新規取組

◆こども(親子)向け教室

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	ハーブソープを作ろう(新)	キンセンカの花を使った石鹸を手作する体験教室を実施	1	●			
2	こどもサイエンス講座 ①「葉っぱの作戦」(新)	園内の葉を触って、細かい違いを顕微鏡で観察し葉の働きを学ぶ	1	●			
3	タケノコ狩りと竹細工(新)	児童遊園地の竹林でタケノコの収穫し、竹細工を作る体験教室を開催	1	●			
4	梅もぎ体験(新)	児童遊園地の梅林で梅の収穫体験を実施し、梅の実の利用方法を学ぶ	1	●			
5	春のデジタルカメラ教室 (新)	カメラの使い方や撮影方法、マナーを学ぶ教室を実施	1	●			
6	親子で楽しむ夏の草木染め	園内の植物で草木染めをし、オリジナルトートバッグを作成する教室を開催	1		●		
7	夏休みモノ作り体験その1 (新)	園内で栽培した綿から、糸を紡ぐ体験を実施	1		●		
8	夏休みモノ作り体験その2 (新)	紡いだ糸から、コースターを作る体験教室を実施	1		●		
9	食虫植物の不思議	食虫植物をルーペで観察し、植物の不思議を学ぶ体験教室を実施	1		●		
10	どんぐりを食べよう!	どんぐりからおだんごやすいとんを作成して食べる体験教室を実施	1		●		
11	ハーブを使った虫よけづくり (新)	虫よけ効果のある植物を使った虫よけスプレーの手作り体験教室を実施	1		●		
12	こどもサイエンス講座② 「タネの作戦」(新)	園内のタネを観察し、タネの運搬など植物の不思議を調べる講座を実施	1		●		
13	秋の木の実のリース作り	園内の木の実でリース作りを体験	1			●	
14	エジソンのマダケで点灯実験	植物園にある「エジソンのマダケ」(エジソンが電球のフィラメントに使ったマダケの子孫)を使ってフィラメントを作り点灯させる	1			●	
15	自然遊び	児童遊園地で自然遊びを行い、ゲームをしながら自然の大切さを学ぶ	2			●	●

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
16	マメ知識と豆腐作り体験	豆の試食や豆腐づくりを通して、普段食べている豆について学ぶ体験教室	1			●	
17	木の実のクリスマス飾り	園内で集めた木の実や針葉樹の葉を使って、クリスマス飾りをつくる	1			●	
18	干柿づくり	くだもの園で収穫した柿を使って、干柿づくりの体験教室を実施	1			●	
19	こんにゃく作り体験	こんにゃく芋からこんにゃく作りを行い、試食を体験する教室を実施	1			●	
20	親子で楽しむ春の草木染め	ローズマリーを使った草木染めを体験する教室を実施	1				●
21	春休みモノ作り体験(新)	児童遊園地の竹を使って親子で竹灯籠作りを実施	1				●
22	ピンホールカメラ教室	ピンホールカメラの使用方法を学び、植物写真を撮影する体験を実施	1				●

◆ガーデニング講習会

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	さつき盆栽作り	さつき盆栽の栽培について、実技を行いながら全3回の連続講座を実施	3	●		●	
2	ばらを愉しむ～ばら栽培12ヶ月	バラの剪定方法や栽培の基本を学ぶ講座を実施	2		●		●
3	初心者向け洋ランの育て方(コショウラン)	コショウランの年間管理等について学ぶ講習会を実施	1	●			
4	花菖蒲の育て方	花菖蒲を株分けし、育て方を学ぶ講習会を実施	1	●			
5	花物を使ったミニ盆栽作り	花物の植物をミニ盆栽に仕立てるための植え付け方や維持管理を学ぶ講習会を実施	1		●		
6	コンテナで育てる野菜作り	野菜作りの基礎を学びながらコンテナガーデンの楽しみを伝える講習会	1		●		
7	ハンギングリース作り	ハンギングリースを作成するための講習会を実施	1			●	
8	落ち葉堆肥を作ろう	落ち葉を原料とした堆肥作りの講習会を実施	1			●	
9	果樹の剪定講座	果樹の剪定や育成方法を修得する講習会を実施	3			●	

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
10	お正月の苔玉作り	縁起のいい植物を使ったお正月にふさわしい苔玉を作りの講習会を実施	1			●	
11	楽・楽家庭菜園～春夏野菜編	家庭菜園に挑戦し野菜作りの基本とポイントについての講習会を実施	1				●

◆大人向け講座

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	春のアレンジメント	植物園の植物で春のお花で華やかなフラワーアレンジメント作りを楽しむ講座を実施	1	●			
2	バラのアレンジメント	バラを使った華やかなフラワーアレンジメント作り講座を実施	1	●			
3	アジサイの花束とラッピング	アジサイを使ったフラワーアレンジメント作りとラッピング講座を実施	1	●			
4	夏のアレンジメント	夏の花を使ったフラワーアレンジメント作り講座を実施	1		●		
5	秋のアレンジメント	秋の花を使ったフラワーアレンジメント講座を実施	1			●	
6	クリスマスのフレッシュリース	針葉樹を使った華やかなフレッシュリース作りの講座を実施	1			●	
7	お正月のアレンジメント	縁起のいい植物を使ったお正月を彩るアレンジメント作りの講座を実施	1			●	
8	クリスマスローズの花束とラッピング	花が少ない時期に彩りを添えるクリスマスローズを使ったアレンジメント	1				●
9	かご編み講座	つるや草、シュロを使ったかご編みの作成講座を実施	3		●	●	●
10	初心者向けボタニカルアート体験教室	植物園内の草花を教材に、ボタニカルアートの体験教室を実施	7		●	●	●

◆企画展示

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	さくらそう展	古典園芸植物のサクラソウの品種を伝統的な展示で桜草花壇を再現	1	●			
2	バラ展	バラの歴史や利用法、バラに関する雑学などのパネル展示	1	●			
3	山野草展	初夏の山野で見られる草花の鉢物展示 協力：横浜山草会	1	●			

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
4	さつき盆栽展	開花時期のさつき盆栽の展示 協力：横浜さつき愛好会	1	●			
5	花菖蒲展	系統保存している山形県長井市に伝わる花菖蒲「長井古種」の展示	1	●			
6	みどりの発見コーナー	楽しみながら園内の植物への理解を深めてもらう子ども向けのミニ展示	1	●			
7	こども植物園 40 周年記念展～40 年のあゆみと木原均博士～	こども植物園の歴史を振り返るとともに木原博士の実験内容や博士ゆかりの実験植物(スイバ・アサガオ等)の展示	1		●		
8	食虫植物展	さまざまな仕組で虫を捕える食虫植物を解説とともに展示	1		●		
9	大輪朝顔展	大きなものでは直径 20 cmにもなる朝顔の鉢物展示 協力：横浜朝顔会	1		●		
10	柿展	柿についてのパネルや園内の柿の実物を展示	1			●	
11	菊花展	大菊、小菊、古典菊、野生菊の鉢物展示 協力：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会長生会	1			●	
12	さつき秋季展	さつき盆栽を展示 協力：横浜さつき愛好会	1			●	
13	こども植物園写真展	園内の見どころを紹介する作品展を開催 協力：写真サークル「どんぐり」	1			●	
14	こめ展	米の原料であるイネについてのパネルやいろいろな品種の標本などを展示	1			●	
15	めでたい植物 (ミニ展示)	正月に飾られる縁起の良い植物をその言われとともに展示	1				●
16	横浜ばら会写真部写真展	横浜ばら会の写真部のみなさんの作品展	1				●
17	ボタニカルアート教室作品展	ボタニカルアート教室受講生による作品展を開催	1				●
18	横浜に生える植物展	横浜をテーマにした植物標本の展示協力：横浜植物会	1		●		

◆季節のお祭り、イベント

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	春祭り	花苗交換会、収穫物の販売、クラフトコーナー、ヨーヨー釣りなどを実施	1	●			
2	七夕	園内に笹竹、短冊を設置	1		●		
3	落ち葉感謝祭	秋遊びスタンプラリー、収穫物の販売、花苗交換会などを実施	1			●	
4	お正月遊び	羽子板、こま、竹馬、すごろく、福笑いなど昔懐かしいお正月遊びを実施	1				●
5	こま回し&かるた取り大会	端材で作ったこま回しや、こども植物園オリジナルかるたによる大会を開催	1				●

◆その他自主事業

No	事業名	実施内容	回数	実施予定時期 (四半期ごと)			
				1	2	3	4
1	夏休み宿題お助け隊（小学生向けイベント）	夏休みの自由研究の題材に悩む小学生のために自由研究を支援するイベント	1		●		
2	みどりの学校（対象：小学5、6年生）	1年間にわたり花や野菜の栽培、自然観察などの体験を通じて自然や生命の大切さを学ぶ、花育、環境学習を実施	13	●	●	●	●
3	絵本の読み聞かせと自然遊び（対象：乳幼児の親子）	図書コーナーの絵本の読み聞かせと園内での自然遊びを実施	12	●	●	●	●
4	園内ガイドツアー	利用者に花や樹木の魅力、季節の見所を分かりやすく伝えるガイドを実施	12	●	●	●	●
5	企画展示スペシャルガイド	企画展開催時に、特別ガイドを実施し、ガーデンネックレス横浜をPR	2	●			
6	出張相談・講座	イベントや学校等において、相談員が出張し、植物についての相談に応じる出張相談所事業や、講座を実施	随時				
7	こども向け書籍の充実	こども向け書籍を中心に、図書コーナーの充実を図る	随時				
8	はまみらいの販売	市の花「バラ」の普及のために、横浜開港 150 周年記念のバラ「はまみらい」を販売	随時				
9	はまっ子ユーキの販売	市の施策協力として緑のリサイクルプラントで生産した土壌改良材を販売	通年	●	●	●	●
10	余剰収穫物の販売	園内で収穫したフキ、カキ等を販売し、合わせて「横浜農場」の PR を実施	随時				
11	植物ラベルの設置	樹名板の追加設置を実施	通年	●	●	●	●
12	「よこはま緑のまちづくり基金」募金箱設置	市内の緑化推進や環境保護等に寄与する募金活動を実施	通年	●	●	●	●

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務	内容	再委託会社	回数	実施月
自動ドア保守点検	事務所・展示研修館の自動ドアの保守点検	H30 年度中に見積もり合わせ	3	6・11・2月
清掃業務(床、窓、屋外トイレ、温室、標本庫)	水準書記載の特別清掃等の委託	H30 年度中に見積もり合わせ	通年	通年
機械警備	建物の機械警備委託	H30 年度中に見積もり合わせ	通年	通年
消防設備点検	消防設備の点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	2	8・2月
スズメバチ駆除業務	スズメバチ類が営巣した巣の撤去委託	H30 年度中に見積もり合わせ	随時	8月
園地管理業務	水準書記載内容の園地管理作業のうち、大規模な作業の委託	横浜市グリーン事業協同組合	随時	通年
樹木医	樹木医による特定の樹木の診断や診断書の発行	特定非営利活動法人 自然への奉仕者・樹木医協力会	随時	未定
音声ガイドシステム開発	提案書記載の音声ガイドシステムの提供	H30 年度中に見積もり合わせ	1	6月
園内灯設備保守点検業務委託	園内灯の保守点検	H30 年度中に見積もり合わせ	1	5月
自家用電気工作物保安管理業務委託	電気点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	12	毎月
空調設備保守点検業務委託	空調の点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	4	6・9・12・3月
放送設備保守点検業務委託	放送設備の点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	1	12月
遊具精密点検	水準書記載の遊具の精密点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	1	12月
夜間緊急対応業務	児童遊園地の緊急時警備業務委託	H30 年度中に見積もり合わせ	随時	通年
一般廃棄物収集・運搬・処分業務	一般廃棄物の収集運搬処分委託	H30 年度中に見積もり合わせ	随時	通年
産業廃棄物収集・運搬・処分業務	産業廃棄物の収集運搬処分委託	H30 年度中に見積もり合わせ	随時	通年
節水装置点検	児童遊園地のトイレの節水装置点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	1	10月
消火器詰替え委託	事務所・展示研修館の消火器詰替え委託	H30 年度中に見積もり合わせ	1	2月
エントランス装飾業務委託	エントランスの植栽委託	H30 年度中に見積もり合わせ	4	6・9・12・3月
消防設備保守点検	消防設備の点検委託	H30 年度中に見積もり合わせ	1	2月
年末年始巡回警備業務委託	年末年始の巡回警備委託	H30 年度中に見積もり合わせ	2	12・1月
低圧分電盤点検	分電盤の点検業務委託	H31 年度中に見積もり合わせ	1	未定

(事業計画書様式7)
収支予算書(指定管理料のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	提案書費目
収入の部							
指定管理料	85,325,000	0	85,325,000	0	85,325,000		
利用料金収入	0	0	0	0	0		
自主事業収入	1,688,000	0	1,688,000	0	1,688,000		
雑入	0	0	0	0	0		
その他雑入	0	0	0	0	0		
収入合計	87,013,000	0	87,013,000	0	87,013,000		

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	提案書費目
支出の部							
人件費	57,828,000	0	57,828,000	0	57,828,000		
給与・賃金	45,248,000	0	45,248,000	0	45,248,000		人件費
社会保険料	7,534,000	0	7,534,000	0	7,534,000		人件費
通勤手当	4,866,000	0	4,866,000	0	4,866,000		人件費
健康診断費	180,000	0	180,000	0	180,000		人件費
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0		人件費
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0		人件費
事務費	4,610,000	0	4,610,000	0	4,610,000		
旅費	91,000	0	91,000	0	91,000		物件費
消耗品費	1,730,000	0	1,730,000	0	1,730,000		物件費
会議賄い費	55,000	0	55,000	0	55,000		物件費
印刷製本費	1,260,000	0	1,260,000	0	1,260,000		物件費
使用料及び賃借料	64,000	0	64,000	0	64,000		
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0		物件費
(その他)	64,000	0	64,000	0	64,000		物件費
備品購入費	0	0	0	0	0		物件費
図書購入費	120,000	0	120,000	0	120,000		物件費
施設責任賠償保険	340,000	0	340,000	0	340,000		物件費
職員等研修費	101,000	0	101,000	0	101,000		物件費
振込手数料	2,000	0	2,000	0	2,000		物件費
リース料	847,000	0	847,000	0	847,000		物件費
手数料	0	0	0	0	0		物件費
地域協力費	0	0	0	0	0		物件費
自主事業費	2,472,000	0	2,472,000	0	2,472,000		自主事業費
管理費総合計	64,910,000	0	64,910,000	0	64,910,000	人件費、事務費、自主事業費の合算	
光熱水費合計	4,870,000	0	4,870,000	0	4,870,000		
光熱水費(電気)	3,929,000	0	3,929,000	0	3,929,000		光熱水費
光熱水費(ガス)	32,000	0	32,000	0	32,000		光熱水費
光熱水費(水道)	455,000	0	455,000	0	455,000		光熱水費
光熱水費(下水道)	454,000	0	454,000	0	454,000		光熱水費
清掃費	500,000	0	500,000	0	500,000	うち委託料 500000円(予算)	委託料・物件費
修繕費	1,600,000	0	1,600,000	0	1,600,000		修繕費
機械警備費	428,000	0	428,000	0	428,000	うち委託料 428000円(予算)	委託料・物件費
施設保全費	12,992,000	0	12,992,000	0	12,992,000		
空調衛生設備保守	719,000	0	719,000	0	719,000	うち委託料 719000円(予算)	委託料・物件費
消防設備保守	76,000	0	76,000	0	76,000	うち委託料 76000円(予算)	委託料・物件費
電気設備保守	1,081,000	0	1,081,000	0	1,081,000	うち委託料 1081000円(予算)	委託料・物件費
害虫駆除清掃保守	100,000	0	100,000	0	100,000	うち委託料 100000円(予算)	委託料・物件費
その他保全費・園地管理	11,016,000	0	11,016,000	0	11,016,000	うち委託料 7577000円(予算)	委託料・物件費
共益費(合築等の場合)	0	0	0	0	0		物件費
公租公課	0	0	0	0	0		
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0		物件費
公租公課(消費税)	0	0	0	0	0		物件費
公租公課(印紙税)	0	0	0	0	0		物件費
その他公租公課	0	0	0	0	0		物件費
事務経費	100,000	0	100,000	0	100,000		
事務経費(本部分)	100,000	0	100,000	0	100,000		その他の費用
事務経費(当該施設分)	0	0	0	0	0		その他の費用
その他経費(当該施設分)	1,613,000	0	1,613,000	0	1,613,000		物件費
支出合計	87,013,000	0	87,013,000	0	87,013,000		
差額	0	0	0	0	0		

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	12,477,000	0	12,477,000	0	12,477,000		
設置管理許可支出合計	12,477,000	0	12,477,000	0	12,477,000		
差額	0	0	0	0	0		